

令和8年度第1回 芦屋市要支援児童等教育支援委員会 会議要旨

日 時	令和8年6月4日（木） 13：30～14：30
場 所	北館4階 教育委員会室
出 席 者	委 員 長 小幡 一夫（芦屋市医師会） 副委員長 木下 新吾（芦屋市立精道小学校長） 委 員 加藤 力敬（芦屋市医師会） 堀 敦（三田谷治療教育院理事長） 田邊 勝彦（兵庫県立芦屋特別支援学校長） 下條 純（芦屋市こども福祉部福祉室障がい福祉課長） 篠原 あや（芦屋市こども福祉部こども家庭室 ほいく課保育向上担当主幹） 辻 彩（芦屋市こども福祉部こども家庭・保健センター 健康増進・母子保健担当課長） 巽 愛子（芦屋市立潮見幼稚園長） 菅原 淳也（芦屋市立精道小学校教諭） 事 務 局 野村 大祐（芦屋市教育長） 塩山 利枝（芦屋市教育委員会学校教育室長） 藤田 博嗣（芦屋市教育委員会保健安全・特別支援教育課主幹） 内藤 順子（芦屋市教育委員会保健安全・特別支援教育課主幹） 宮尾 陽子（芦屋市教育委員会保健安全・特別支援教育主査）
欠 席 者	委 員 岡田 浩一（芦屋市立潮見中学校）
事 務 局	芦屋市教育委員会保健安全・特別支援教育課
会議の公開	■ 非公開
傍 聴 者 数	審議の内容に個人情報が含まれているため、非公開とする。

1 会議次第

- (1) 委嘱状交付式
- (2) 正副委員長選出
- (3) 教育委員会からの諮問
- (4) 審議

① 報告事項

- ア 令和7年度 就学指導の結果について
- イ 令和7年度 教育相談等の状況について

② 協議事項

- ア 専門部の設置について
 - ・専門部員の指名について
 - ・専門部への付託事項について
- イ 芦屋市要支援児童等教育支援委員会の流れについて
 - ・就学後の児童生徒の追跡調査に関すること
 - ・新就学予定幼児児童の就学に関すること
 - ・要支援児童等の教育的支援に関すること
- ウ 調査書式について

(5) その他

2 審議経過

(1) 報告事項について

- ①令和7年度芦屋市要支援児童等教育支援委員会の審議結果に基づく、今年度入学児童生徒の就学先等について、事務局から報告を行った。
- ②令和7年度に芦屋市特別支援教育センターと連携して行った教育相談等の状況について、事務局から報告を行った。

(2) 協議事項について

- ①専門部の設置について、次の点に関して協議を行った。
 - ア 専門部員の指名について
 - イ 専門部への付託事項について
- ②要支援児童等教育支援の流れについて、次の点に関して協議を行った。
 - ア 令和7年度入学転入、転籍、児童・生徒の追跡調査について
 - イ 令和8年度 就学予定児童生徒の実態調査について
 - ウ その他の要支援児童等の教育支援に関する実態調査について
 - エ 調査書式について

今年度上記(1)(2)について事務局報告・提案を承認

(意見交換)

- ・地域の公立小学校にほぼ全員就学することについて。
 - 小学校と就学前施設と連携、就学に向けての教育相談を充実させている。
- ・全国的に不登校の子どもが増えている。学校に行かず、第3の選択肢があるが、これをどう考えるか。
 - 芦屋市は減少の方向である。各学校にサポートルームを設け、スタッフを配置している。
 - 全ての子どもにとって、来やすい学校であるかを課題とし、授業のスタイルを一方通行のスタイルから探究的な学び・個に応じた学びに変えていっている。
 - 通級担当、特別支援学級担だけではなく、すべての教員が、専門性を高め、インクルーシブの考え方で、すべての子を包摂するような学びにしていくべきである。
- ・幼少期、児童期、高等部卒業後と継続的に追跡し育てていく必要がある。